

アウトリーチ広報の更なる展開 ～若年層をはじめ幅広い層への広報を精力的に実施～

広報相談

- ◆ 関東財務局及び管内財務事務所・出張所では、社会保障と税の一体改革広報について、「アウトリーチ」による広報先の新規開拓を粘り強く継続。獲得した広報先の要望に合わせ講義内容や資料をカスタマイズするなど、ニーズに合った双方向性のある講演活動等を実施。
- ◆ 平成28年度は、大学生・高校生向けの寄附講義等や、主に小・中学校の児童・生徒向けの財政教育プログラム・租税教室といった若年層向け広報をはじめ、学童保育の保護者会等の主婦層・子育て世代向けや、シルバー大学等の高齢者層向けなど、幅広い層に対して一体改革広報を実施。また、当局職員の母校への働きかけにより新規広報先も開拓。

1. 成果事例の概要等

- 関東財務局では、幅広い層に対して「アウトリーチ」による社会保障と税の一体改革広報を継続的に実施。

若年層

主婦層

子育て世代

高齢者層

- 平成28年度、特に注力した若年層向け広報では、大学での寄附講義等に加えて、全附連との連携による財政教育プログラムや、国税局との連携による租税教室などを実施。



【財政教育プログラム】

▶ **財政教育プログラム**で実施したグループワークでは、当局の若手PTメンバーが、アドバイスや進行のサポートを行うなど、児童・生徒の主体性を尊重しつつ、「自分事化」につながるよう取組を実施。

▶ **租税教室**は、26年度8校、27年度13校、28年度20校と着実に増加。また、大学での寄附講義等においても、国税局との連携を強化。

- **主婦層・子育て世代**向けには、学童保育の保護者会を対象とした広報やNPO法人与自然連携したイベントを実施したほか、地方公共団体等の協力を得て、29年度から子育て支援センターにおいて広報を実施。また、**高齢者層**向けには、シルバー大学等を中心に広報を実施。

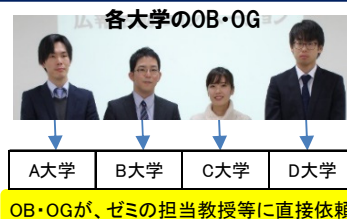
- そのほか、金融部門においても、親子で参加できる「金融学習バスツアー」や「キッズマネーアカデミー」を企画するなど金融リテラシー広報を継続的に実施。



【金融学習バスツアー】

トピックス

東京財務事務所では、28年度から「OB・OG等による出身大学への広報活動」を開始。OB・OG等と各課が連携し、きめ細やかなフォローアップを行った結果、多くの講義機会を得ることができ、OB・OG自身が母校の教壇で講義を実施。



2. これまでの取組の成果等

【主な実績】

- 社会保障と税の一体改革広報等：講演等件数154件(平成29年3月末現在)

【若年層】

- ・連続講義…埼玉大学、信州大学、横浜国立大学、城西大学
- ・単発講義…日本女子大学、早稲田大学、跡見学園女子大学、淑徳大学、文星芸術大学、都立産業技術高等専門学校、中央大学高等学校
- ・財政教育プログラム…新潟大学教育学部附属新潟小学校、埼玉大学教育学部附属中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、新潟大学教育学部附属長岡小学校、群馬大学教育学部附属中学校
- ・租税教室…千葉市立稲浜小学校、長野市立芹田小学校、新潟市立山潟小学校、横浜市立みなと総合高等学校 等

【主婦層・子育て世代】

- 三浦市学童保育トビウオクラブ保護者会、NPO法人埼玉わあくらいふサポーター 等

【高齢者層】

- 新潟県高齢者大学、彩の国いきがい大学伊奈学園、栃木県シルバー大学校、岩槻区警察OB会、久喜市高齢者大学22期悠々OB会 等



【大学講義(OB・OGによるトークコーナー)】



【主婦層・高齢者層との意見交換】

一体改革広報の講演先で、当局のさまざまな取組を紹介するなど、部門間で連携して広報活動を展開。幅広い層に対して、ニーズに応じた広報活動を関東財務局一丸となり実施。

3. 今後の課題と関東財務局等の対応

《今後の課題》

- 国立大附属の未実施校及び公立・私立校への財政教育プログラムの展開。
- 主婦層・子育て世代向け広報の更なる充実。

《関東財務局及び管内財務事務所・出張所の今後の対応》

- 本局・事務所等が一体となって広報人材の育成と広報スキルの向上に取り組む。
- 金融リテラシー広報と有機的な連携を図りながら、主婦層・子育て世代向けの一体改革広報を推進。

息の長い取組とするため、これまで積み上げてきたノウハウを今後の展開に活かすとともに、幅広い広報ニーズに応じられるよう、人材育成とスキルの向上を図っていく。